

みんなの声で要求をつくろう！

私たち東日本ユニオンは「2017年度 年末手当の取り組み」を、全組合員はもとより「オールJR労働者」で作りだします。その第一ステップとして、みなさんの想いや具体的な要求を東日本ユニオンにお寄せいただき、その声を踏まえたいうで要求を作りだしていきます。



会社業績は絶好調

＜第1四半期決算における業績の対前年比＞

科目	2016年度	2017年度	差異
営業収益	5,051	5,134	+83
営業利益	1,158	1,202	+44
経常利益	1,098	1,197	+99
四半期純利益	792	863	+70
運輸収入	4,446	4,519	+72
営業費	3,893	3,932	+38
人件費	1,167	1,146	△20

(単体決算/単位：億円)

7月28日に発表した「第1四半期決算」の概況によれば、単体決算は好業績を維持し「増収増益」となっています。特に、営業収益・運輸収入は6期連続の増収かつ、第1四半期決算としては過去最高となり、経常利益および四半期純利益も過去最高を記録しています。

＜夏期間のご利用状況＞

8月18日に発表した「夏期間のご利用状況」は、秋田県を中心とする豪雨の影響で秋田新幹線が一時運休したものの、JR東日本グループで働く者の奮闘によって安全・安定輸送を完遂し、概ね順調に推移しました。

期間中の新幹線・特急・急行列車のご利用状況は、1,185.4万人（前年比100%）で、お盆期間の新幹線・特急・急行列車は407万人で、前年比は101%となりました。



＜鉄道営業収入＞

9月5日に発表した「鉄道営業収入」では、7月期（確報）は対前年100.7%と堅調に推移し、8月期（速報）は前年同時期にあった台風の影響の反動から同102.2%と好調に推移しています。

7月は秋田県豪雨の影響があったものの、7月、8月を通して首都圏の就業者数の増加やインバウンドの地方への旅行者が増えたことで堅調に推移しており、年度累計では102.1%を維持しています。

みんなの力で利益を還元させよう！